

平成29年12月能代市議会定例会

市長説明要旨

平成29年12月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要を御報告いたします。

初めに、第2次総合計画についてであります。10月11日、総合計画市民協働会議から1次素案に対する御提言をいただきました。長期間にわたり御検討をいただいた委員の皆様、心より深く感謝申し上げます。

この御提言等を受けて2次素案を取りまとめ、パブリックコメントを実施したほか、10月27日には、議員の皆様から、11月9日には、地域協議会の皆様から御意見をいただいております。これらを踏まえ、基本構想を本定例会へ提案しております。

女流本因坊戦についてであります。11月4日、旧料亭金勇において第36期女流本因坊戦第3局が開催されました。前日には記念囲碁大会と前夜祭、当日には大盤解説会が行われ、市内外から多数の参加があり、大いに盛り上がりました。対局関係者からは、運営や市民及び関係団体のおもてなし等に感謝の言葉をいただいております。

開催に御尽力いただきました日本棋院能代山本支部をはじめ、関係者等の皆様に厚く御礼申し上げます。

今後も本因坊戦及び本因坊戦にちなんだ大会を誘致することにより、旧料亭金勇及び木都能代を全国に発信するとともに、にぎわいの創出や地域の活性化につなげてまいりたいと考えております。

次に、ねりんピック秋田2017についてであります。市民の皆様のご大きな御支援と御協力により、盛会のうちに幕を閉じることができました。

本市で開催した軟式野球、マレットゴルフ及び囲碁の交流大会には、全国から延べ2,500人の選手・監督等に御参加いただき、各競技とも熱戦が繰り広げられました。

また、関係者の皆様には花いっぱい運動や各会場での心のこもったおもてなし等により「能代市民の“和”」を実感していただけたと思っております。

本大会を盛り上げていただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

次に、能代産業廃棄物処理センターの支障物掘削撤去工事についてであります。県が9月6日に開始したナンバー2処分場内の2カ所の工事は、11月22日に掘削作業を終了しております。これまで掘り出されたドラム缶は424本で、内容物については、現在、分析中とのことであります。

県では、予算や安全性確保の面でこれ以上の掘削が困難であるとして、掘削した部分について一旦埋め戻したいとの意向を示しております。

また、11月6日及び12月1日に、地元住民5団体が県に対し、同センター内の掘削継続等の申し入れを行っております。市といたしましては、今後も環境保全対策等について、地元住民の皆様及び県と十分協議してまいりたいと考えております。

能代港の利活用促進についてであります。能代火力発電所3号機の運転開始や日本海沿岸東北自動車道の全線開通が見込まれるとともに、大規模洋上風力発電の計画が港及びその周辺で進められており、そのポテンシャルを最大限に発揮できる環境が整ってきていると考えております。こうした中で、能代港の利活用促進を図り県北地域の発展につなげていくため、本年4月に県北地域の市町及び商工団体を主体とする能代港ポートセールス検討会を設置し、能代港活用の現状認識や今後の意向等を把握するための企業訪問、アンケート調査を実施しました。

さらに、9月12日には、能代市と国、県、県北の各市、商工団体及び地元企業等を構成員とする能代港ビジョン懇談会を設置し、港の今後のあり方及び整備の方向性について今年度中に中間取りまとめをすることとしております。

引き続き物流の拡大、洋上風力発電の拠点化、クルーズ船の誘致等に向けた取り組みを推進してまいります。

(仮称)イオン新能代ショッピングセンターについてであります。イオングループのディベロッパー部門の責任者から、市に対して報告がありました。その内容であります。「出店に向けて造成工事に取りかかっており、現在、取り付け道路等の整備を行っている。出店時期については、造成工事の期間がはっきりしないこと等から、現段階では明示できない。」とのことでありました。また、能代商工会議所と能代市商店会連合の連名による要望書を踏まえ、11月13日に説明懇談会を開催したところ、約80人の参加があり、今後のまちづくりや既存店の営業継続等について、意見、質問が出されました。

株式会社能代水産物地方卸売市場についてであります。同社は、昭和45年3月に設立され、物価の安定や流通体制の整備等を目的に、本市も出資しております。その後、本市における水産物卸の中心として営業し、配当も出してはおりますが、平成23年には赤字、翌年には債務超過となっております。その後、様々な取り組みを行うなど、経営改善に努めてはおりますが、29年には倒産が避けられない状況となり、同年9月25日付けで「事業譲渡の件」を議案とする臨時株主総会を1

0月3日に開催するとの通知がありました。

市といたしましては総会までの期間が短く、資料や情報が限られており、事業譲渡の可否について判断いたしかねることから、総会には出席できない旨に加え、従業員の雇用や地域の安定した食の流通等を守ることにについて、誠意を持って対応するよう申し添えて通知いたしました。

同社の担当弁護士からは、総会において事業譲渡が可決され、破産手続きに入ったとの連絡を受けております。なお、事業譲渡を受けた別会社は10月5日から営業を開始しているとのことであります。

全国ねぎサミット2017 inのしろについてではありますが、10月7日、8日の両日、市役所駐車場・さくら庭をメイン会場に開催されました。2日間で約3万人の方々においでいただき、白神ねぎをはじめ、能代山本地区の様々な資源や魅力を十分に発信できたものと考えております。開催に御協力いただきました実行委員及び関係者等の皆様に、改めて感謝申し上げます。

本サミットを契機とし、今後さらにネギの生産拡大に向けた取り組みを進めてまいります。その一つとしてネギを中心とした部署の設置についても検討したいと考えております。

次に、能代市教育等の振興に関する施策の大綱についてではありますが、現行の大綱が平成29年度で終了するため、30年度から5年間を実施期間とした、本市の教育等の総合的な施策に関する方向性を定める新たな大綱を今年度中に策定することとしております。

策定にあたっては、国や県の教育振興基本計画、市の総合計画等を踏まえて素案を作成し、今後、総合教育会議において市教育委員会と協議のうえ、市議会、市民の皆様の御意見をお伺いしながら進めてまいります。

小規模小学校及び常盤中学校の統合についてではありますが、市教育委員会では、これまで保護者や地域の皆様の御意見をお伺いしながら、合意形成を進めてまいりました。

その結果、崇徳小学校及び鶴形小学校については、平成31年4月1日に第五小学校へ、朴瀬小学校、竹生小学校及び常盤小学校については、32年4月1日に向能代小学校へ統合することといたしました。

また、常盤中学校については、保護者、同窓会、自治会等の要望を踏まえ、31年4月1日に東雲中学校へ統合することといたしました。

今後、円滑な統合に向けて各学校に統合準備委員会を設置し、準備を進めてまい

ります。

二ツ井地域の図書館についてであります。二ツ井地域協議会から提出された意見書を基本に、公民館運営審議会、図書館協議会等の御意見をお伺いしながら検討した結果、二ツ井町庁舎3階の旧議場等を活用して整備することといたしました。

図書館の実現は、地域住民の長年の要望であることから、30年度当初から整備を進め、来年度中の開館を目指したいと考えております。

次に、単行議案について御説明いたします。

能代市道の駅ふたつ条例の制定については、日本海沿岸東北自動車道の延伸に伴う一般国道7号二ツ井今泉道路事業により、現在の施設を廃止することから、新たに道の駅を設置しようとするものであります。

能代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の内閣府令の一部改正に伴い、受給資格等の確認に係る規定を改正するとともに、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い、条文の整理をしようとするものであります。

能代市公民館条例の一部改正及び財産の無償譲渡については、能代市二ツ井公民館馬子岱分館を廃止し、建物等を無償譲渡しようとするものであります。

能代市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定については、農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数について定めようとするものであります。

このほか、基本構想、一般国道7号能代地区線形改良事業の道路用地として処分することに伴う旧慣による公有財産の使用権の廃止、土地の処分、能代市牧野管理条例の一部改正、二ツ井総合観光センター条例の廃止及び同センターの指定管理者の指定の一部変更、能代市保坂福祉会館ほか7施設の指定管理者の指定について提案しております。

次に、平成29年度能代市一般会計補正予算案の概要を御説明いたします。

このたびの補正予算は、これまでに国、県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業は、当面緊急を要するものについて補正しております。

まず、歳入の主なものとしては、国・県支出金は、機構集積協力金事業費補助金の追加、財産収入は、富根地区切石地区土地売却収入等の計上、繰入金は、財政調整基金繰入金の追加、市債は、道の駅ふたつ整備事業債の追加であります。

次に、歳出の主なものについて御説明いたします。

総務費においては、道の駅ふたついで整備事業費 7,341万6千円、旧慣による交付金 1,492万7千円の計上、地籍調査費 544万円の減額であります。

民生費においては、障害児通所給付費等事業費 617万8千円、過年度国庫負担金等返還金（社会福祉関係） 2,037万6千円、過年度国庫負担金等返還金（児童福祉関係） 673万6千円を、

農林水産業費においては、機構集積協力金事業費 1,743万6千円を計上しております。

また、職員人件費 3,534万7千円の減額を関係費目に計上しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は1億1,292万円となり、これを既定予算に加えますと一般会計の総額は292億5,080万円となります。

このほか、平成29年度各特別会計補正予算案及び各企業会計補正予算案につきましては、提案の際、詳細に御説明いたしますので省略させていただきます。

また、承認案件として、専決処分した平成29年度能代市一般会計補正予算2件を提出しております。

なお、能代市職員の給与に関する条例及び能代市一般職の任期付職員の採用等に関する条例、能代市特別職の職員の給与に関する条例、議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について並びに関係補正予算については、後日追加提案させていただく予定であります。

以上、よろしく御審議の上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます。